

エクセルを利用した地図表示

エクセルを使って、以下の操作で3D、2D地図を作成可能。ただし、データの条件で、想定した図が描けないときがありますが、工夫することによって、回避できます。どうしてもわからないときはメールください。

1. データの概要表示

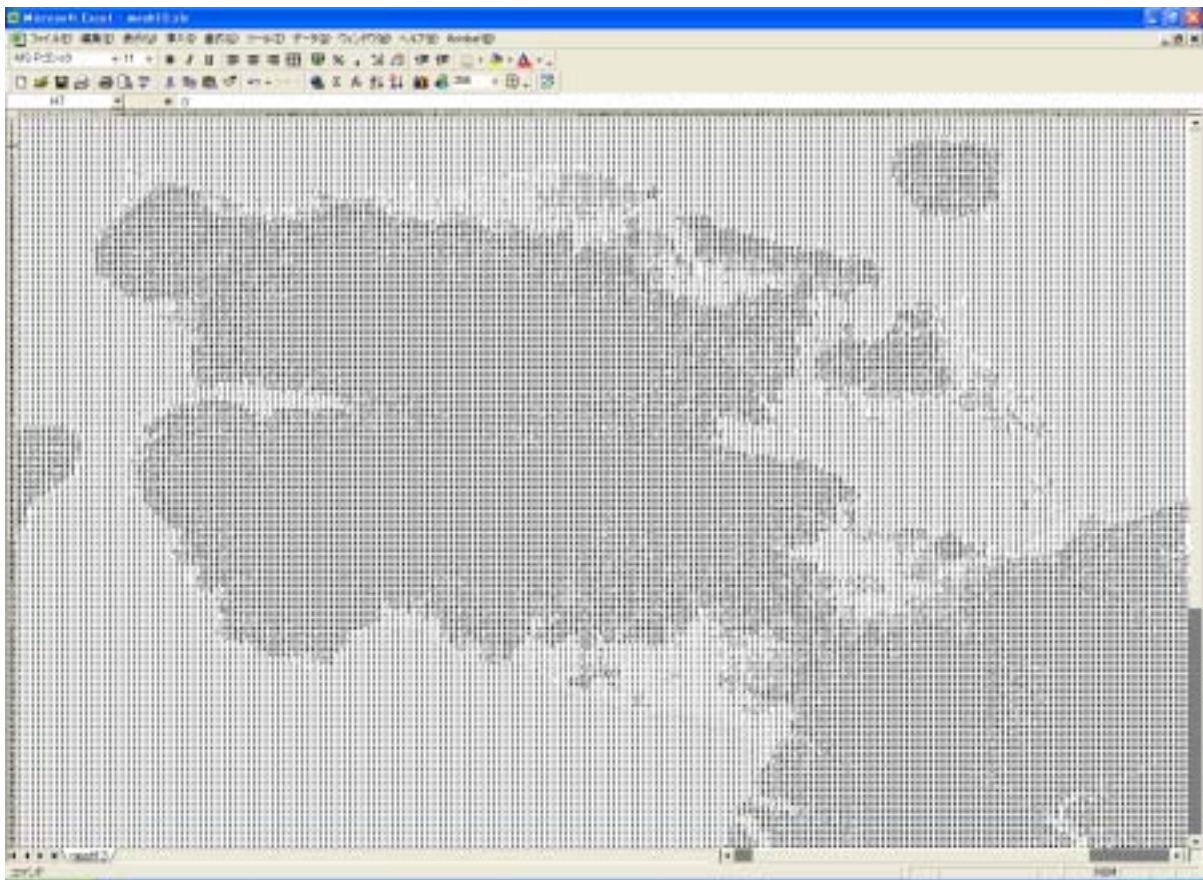
ダウンロードしたメッシュデータに対して、

表示 / ズーム / 25% を選択

さらに、

セルをすべて選択

書式 / 列 / 幅 / 3 を設定

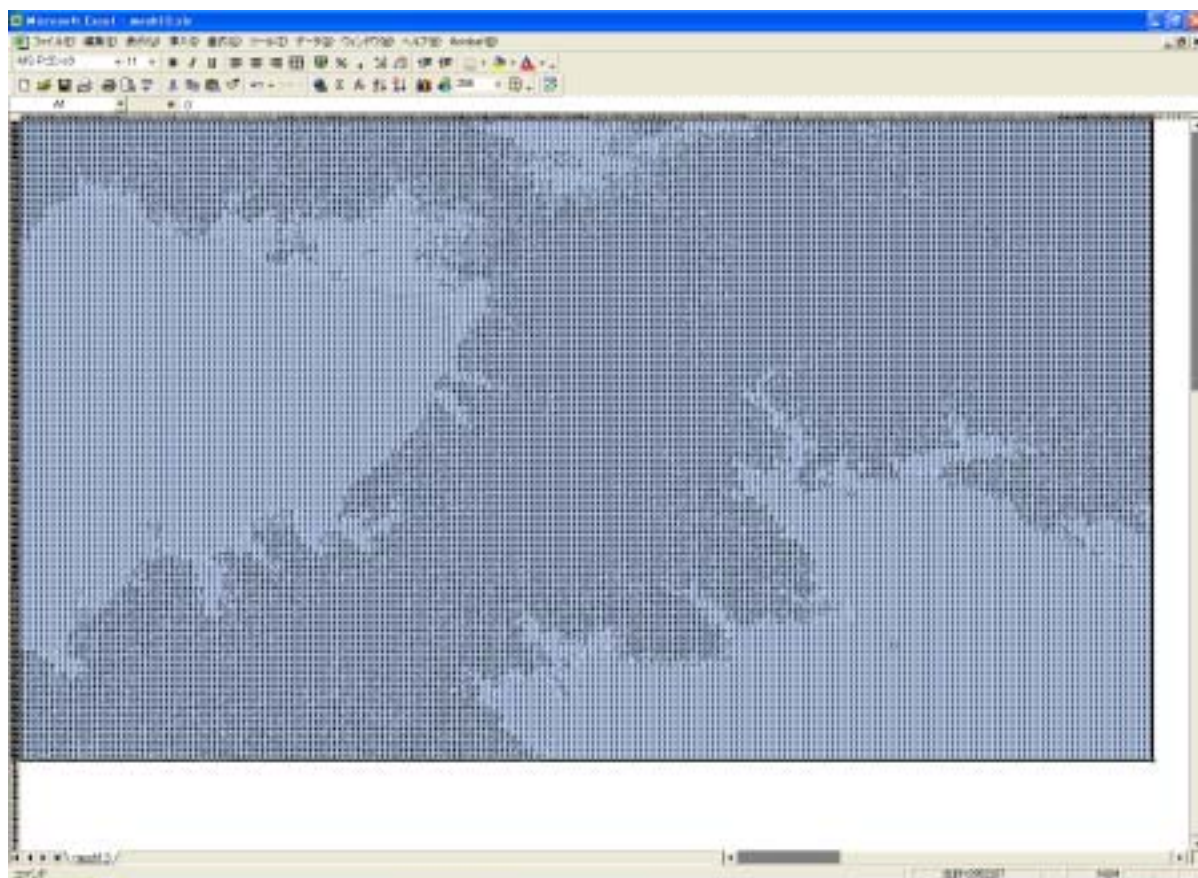


データの概要が判明する。

ただし、画面設定などにより上記の設定数値は試行錯誤が必要。

2. 3D地形図

(1) データ範囲を選択



(2) グラフウィザードボタン (棒グラフマークのボタン)



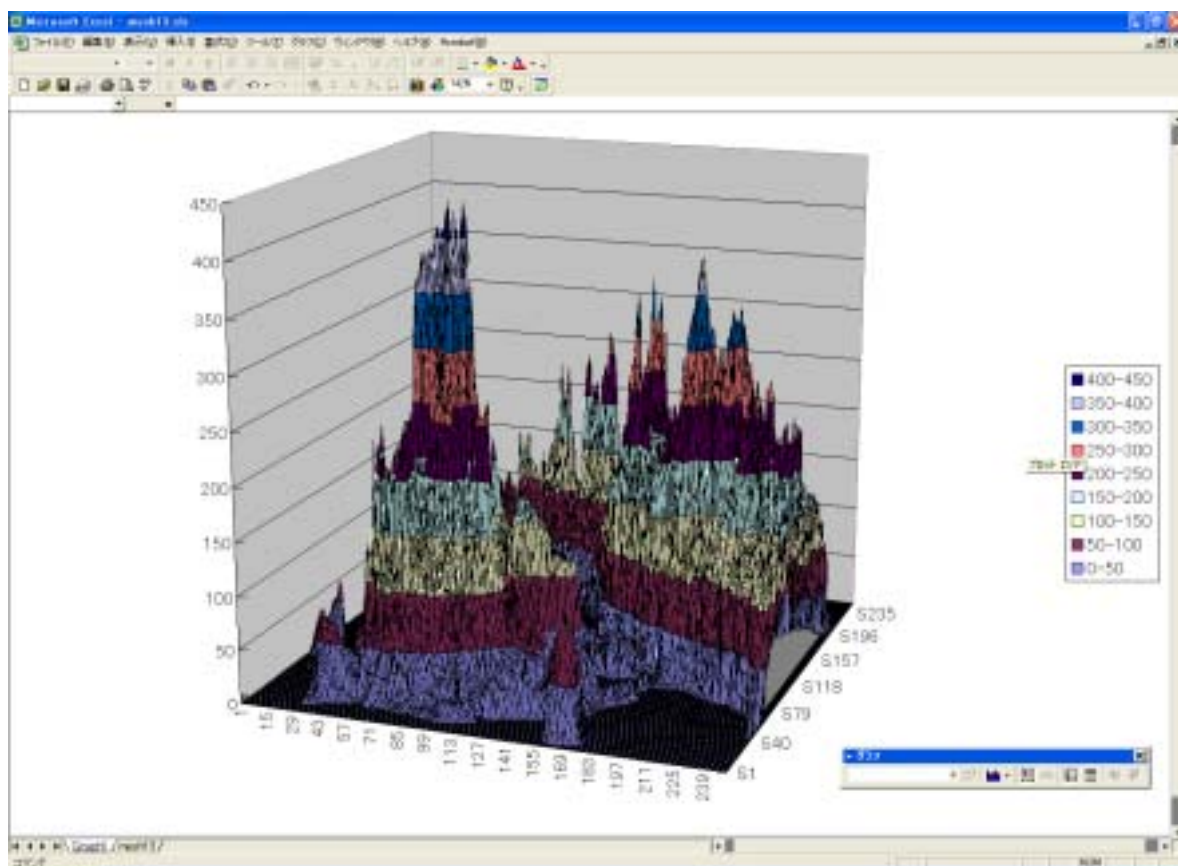
を選択。

次へ ボタンを押し下記の画面で、新しいシートを選択する。



(3) グラフの調整

前項までの操作で、下記のグラフが描かれる。



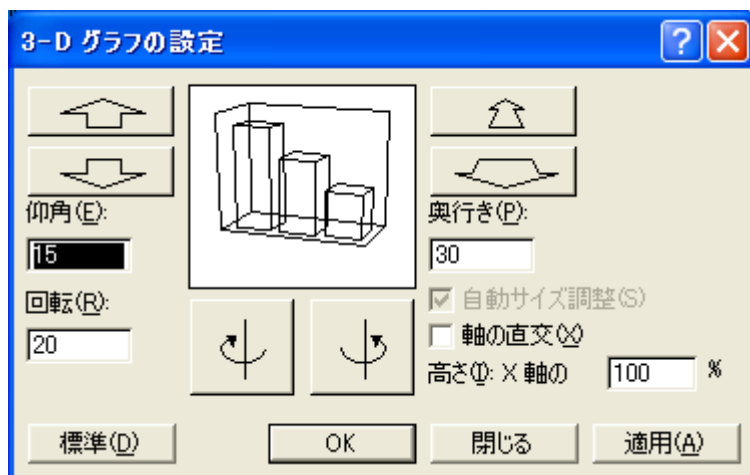
標高が強調されていて、非常に見づらい。

グラフ / 3Dグラフ

を行うと以下のウィンドウが開く。

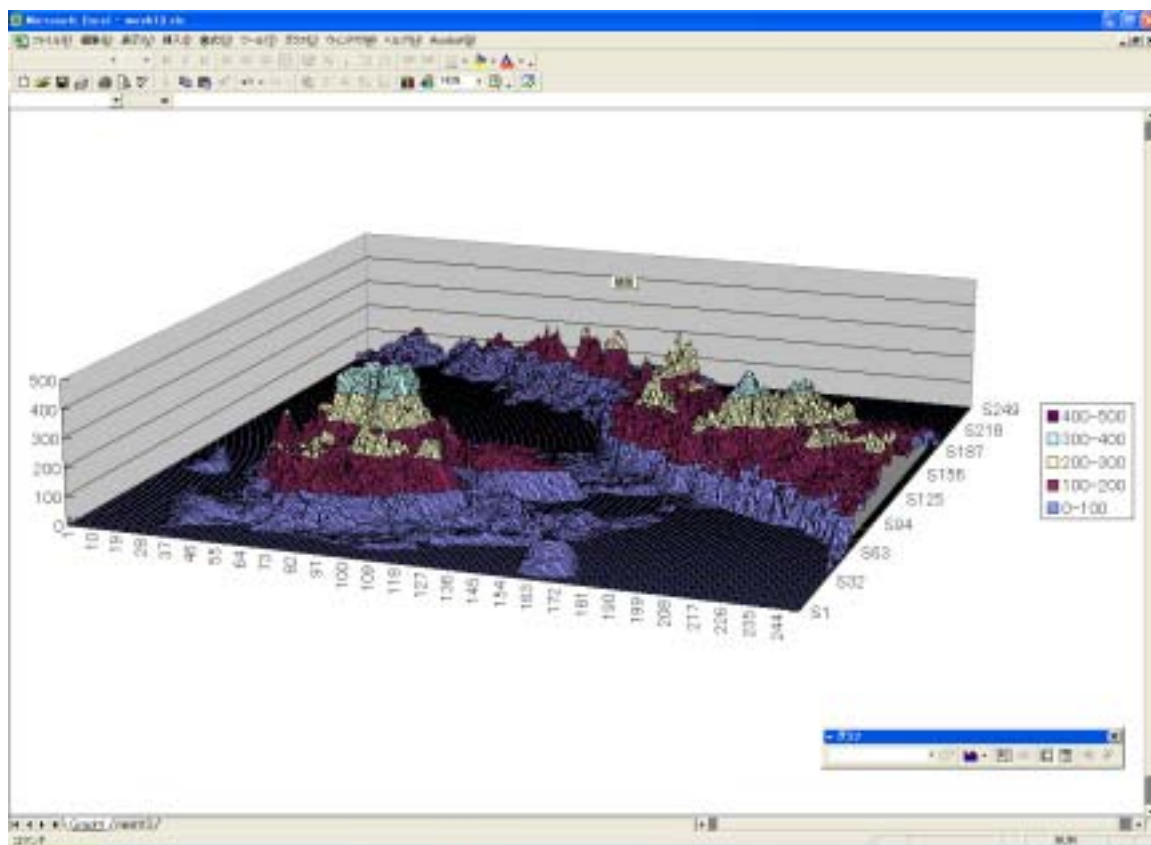
個々で右下の高さ：X軸の%を20～30程度の数字を入力する。

ちなみに見る方向はこの画面で調整することができる。(試してください。)



(4) 海域データの分離

以下の図が調整済みのデータです。



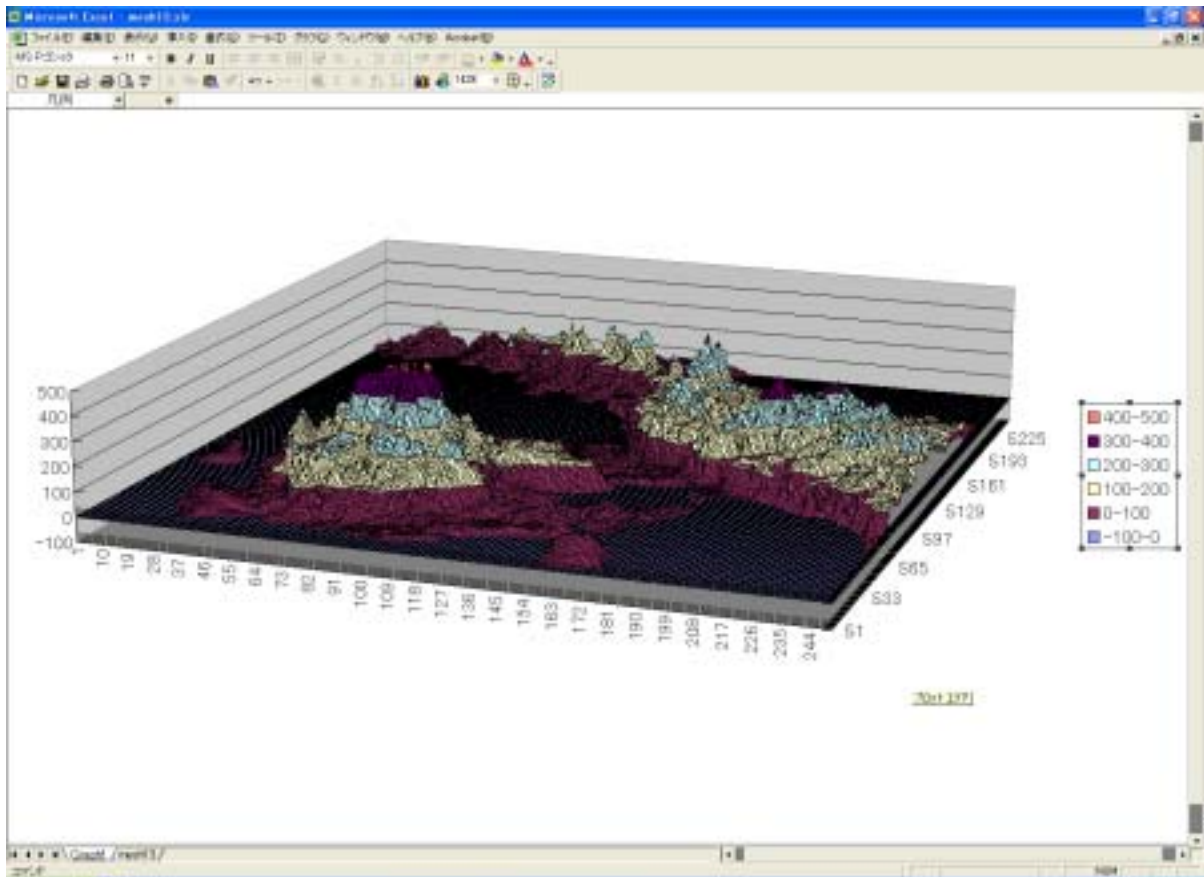
凡例を見てもらうとわかるのですが、海域は0 mが入っており、陸地のデータと同じ色が使われており、見にくくなっています。そこで0 mは異なる色にします。

グラフの凡例全体部分を選択し、右クリック。凡例書式設定をクリックしてください。以下のウインドウが開きます。この画面で目盛タグを選択。

以下のような設定になっているはずです。(データによって異なります。)



自動のチェックを最小値，最大値，目盛間隔のチェックをはずします。
目盛間隔が100ですので，最小値を-100とします。



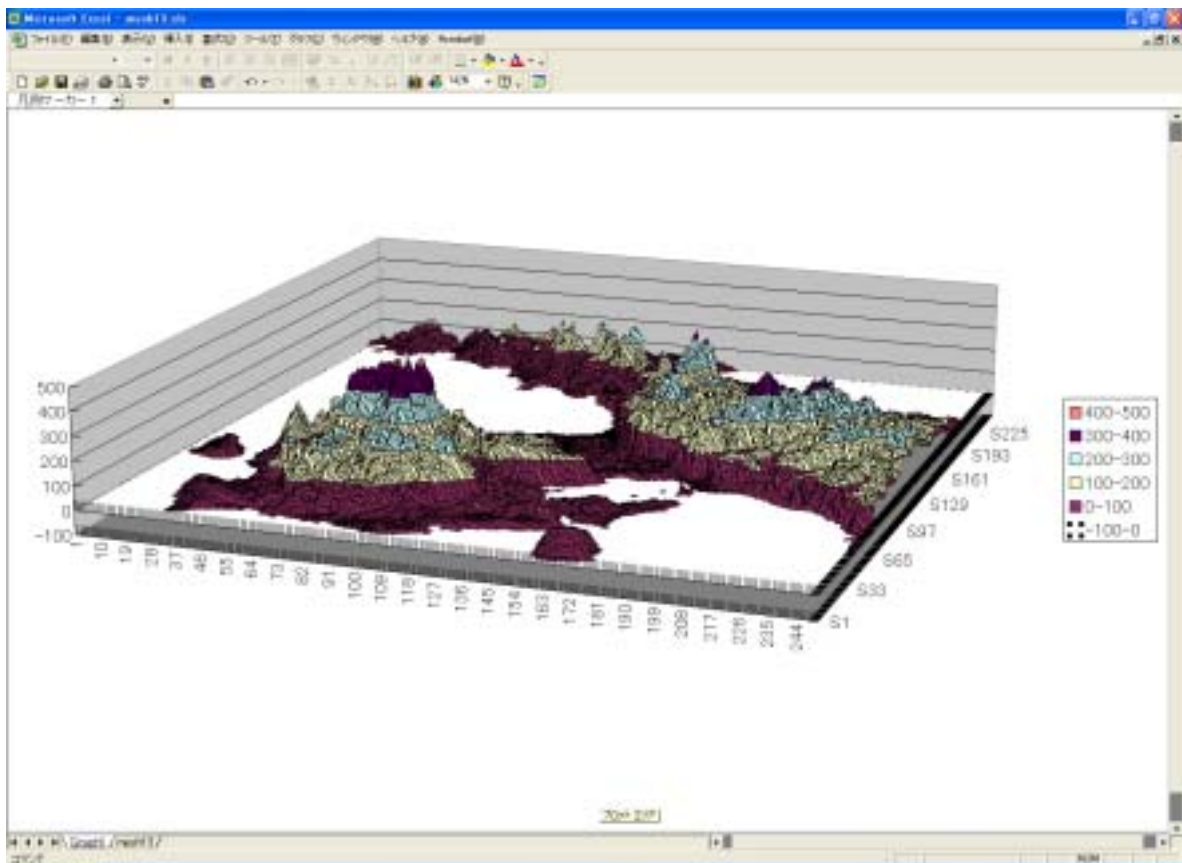
海と陸が分離しました。凡例も変化していることに注意してください。

(5) 着色の変更

次に，海の色を変更します。ちなみにすべての色はこの方法で変更できます。
凡例の変更したい色の四角い着色部分を選択 右クリック。さらに
凡例マーカーの書式設定を選択。



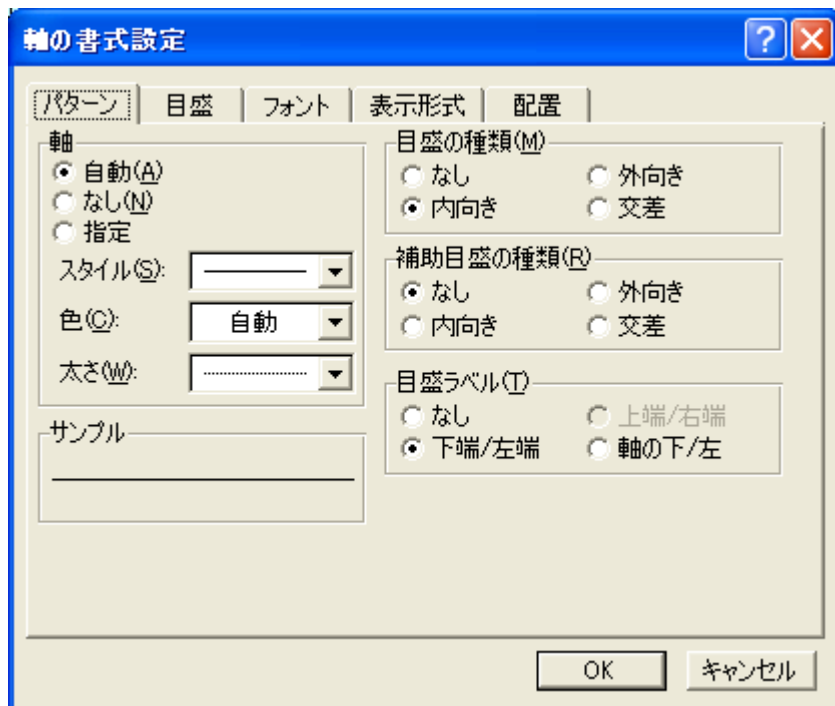
領域部分で色を指定してください。また、輪郭をなしにするとワイヤーフレームが表示されなくなります。



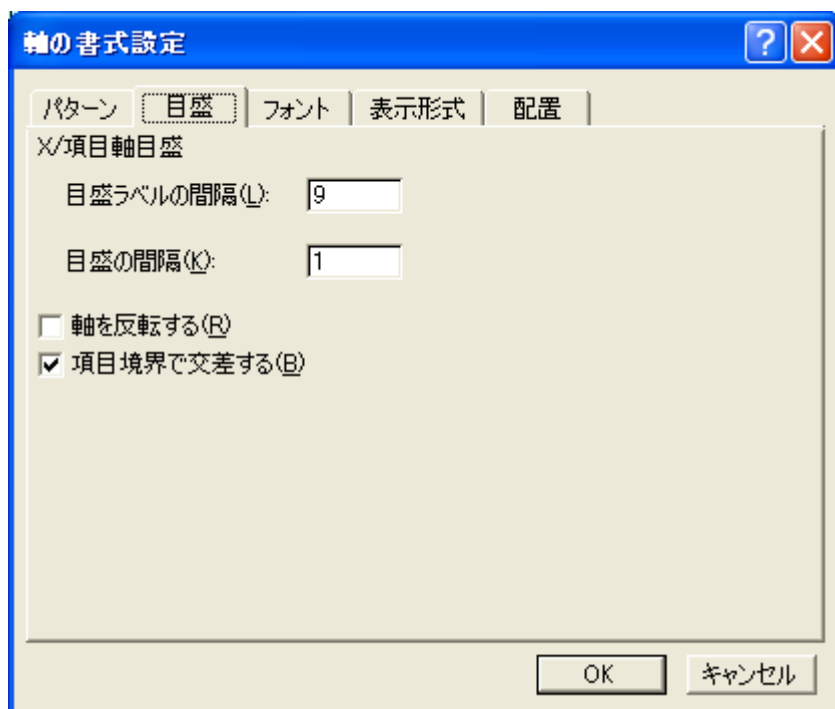
(6) 左右の反転

実はこの図は左右が反転しています。(鏡像状態です)

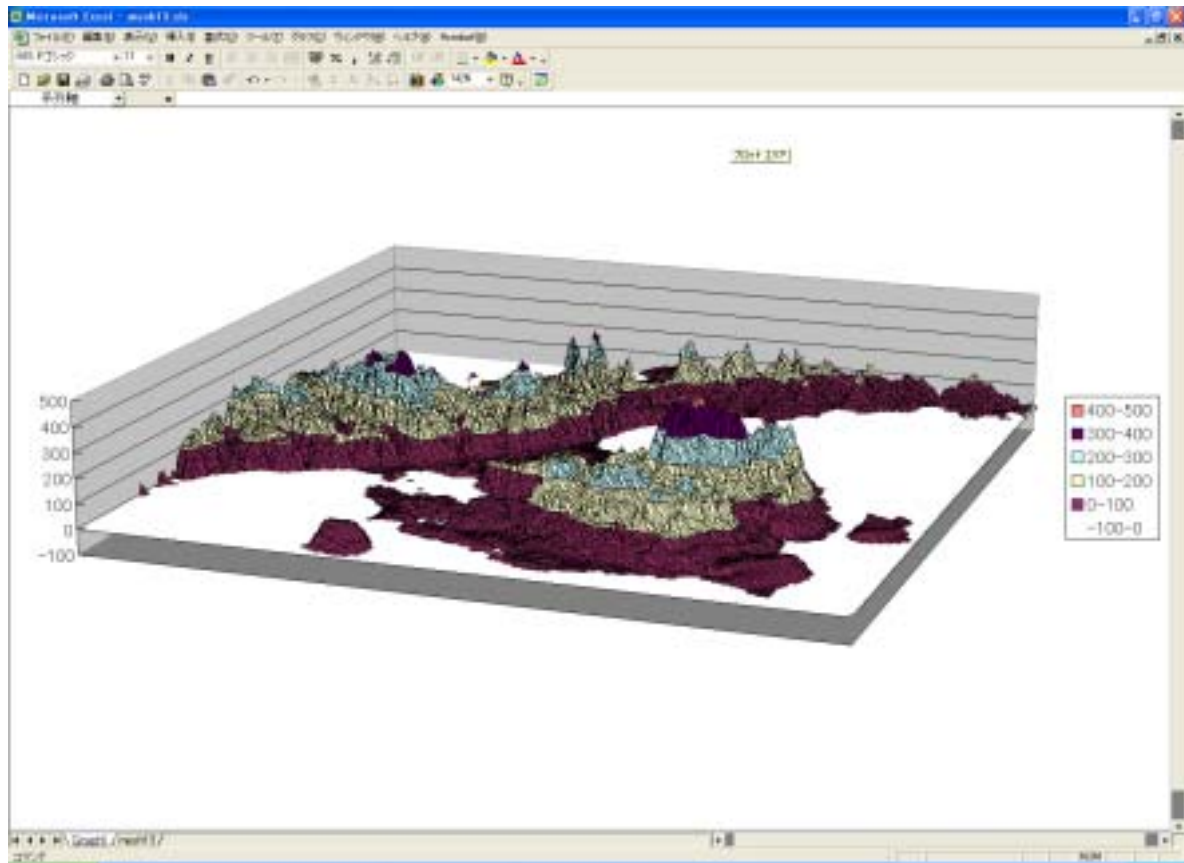
このグラフ画面で軸部分を選択し、右クリック。項目軸の書式設定を選択。



ここで、設定すると目盛り線や項目名などが消せます。
目盛タグを選択し、軸を反転するにチェックをする。



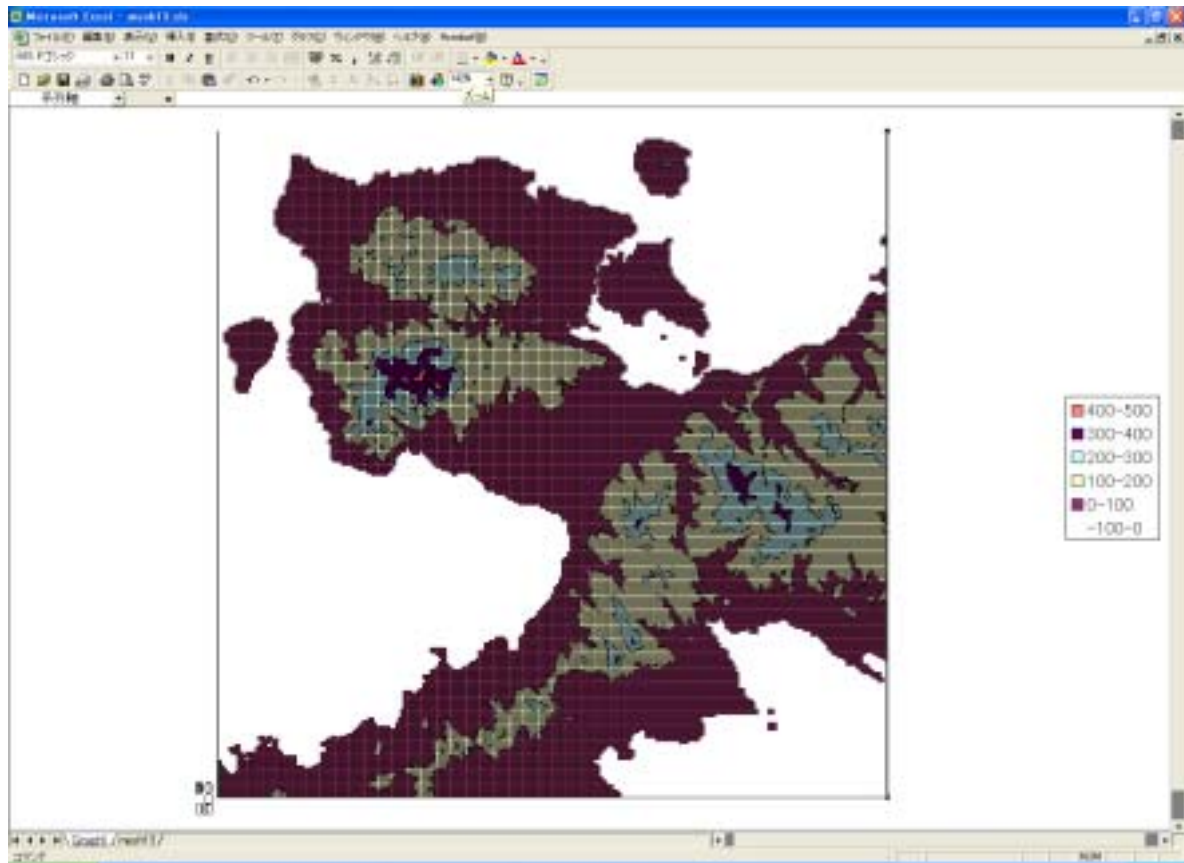
以上の操作で、以下の3D表示が可能になる。



(7) 3D図から平面図へ
 グラフ / 3Dグラフ を行うと以下のウィンドウが開く。



ここで、仰角 90，回転 180，奥行き 0 と設定する。



3. 平面図

3Dの書き方とほぼ同じ。下の画面時、選択が異なるのみ。

